

実施地域図 地域イノベーションクラスター プログラム(都市エリア型)

1. 目的

大学等の「知」を活用して新技術シーズを創出し自立的・継続的な産学官連携基盤を構築することにより研究開発型の地域産業の育成を図り、小規模でも地域の特色を活かした強みを持つクラスターを形成することを目的とします。

2. 概要

- 地域の個性発揮を重視し、技術シーズの創出を目指した産学官共同研究を推進
- 各地域の産学官連携実績や経験に応じ、以下の2タイプの事業を実施
 - ◆一般 1億円程度 × 3年間 10地域
 - ◆発展 1~2億円程度 × 3年間または5年間 13地域 (重点支援枠採択分の3地域を含む)
- ※重点支援枠採択分については3年間で事業を実施

米子・境港エリア*

創薬及び食品機能性評価モデル動物等の開発に係わる
染色体工学研究拠点形成
※鳥取大学、(地独)鳥取県産業技術センター 等

宍道湖・中海エリア

環境にやさしい材料を用いた次世代照明デバイス、
新エネルギー関連技術による新産業の創出
※島根大学 等

広島圏域エリア

生物機能を活用した予防・診断・創薬支援技術の開発による健康産業の創造
※(財)ひろしま産業振興機構広島県産業科学技術研究所、広島大学 等

ふくおか筑紫エリア

ナノ構造制御材料を活用した自動車分野における高機能部品開発拠点の形成
※九州大学、佐賀大学、福岡女子大学、福岡県工業技術センター 等

長崎エリア

非侵襲センシング技術を活用した人に優しい
予防・在宅医療システムの開発
※長崎大学 等

沖縄沿岸海域エリア

沖縄地域の多様な亜熱帯海洋生物資源を活用したマリンバイオ産業の創出と沖縄産海藻のブランド化
※(財)沖縄科学技術振興センター、琉球大学、沖縄県農業研究センター、沖縄県工業技術センター、沖縄県衛生環境研究所、沖縄県海洋深層水研究所 等

高松エリア

特徴ある糖質の機能を生かした健康バイオ産業の創出
※香川大学、徳島文理大学、名城大学、東京海洋大学、九州大学、岡山大学、(独)産業技術総合研究所、香川県産業技術センター 等

弘前エリア*

プロテオグリカンをコアとした津軽ヘルス&ビューティー産業クラスターの創生
※(地独)青森県産業技術センター、弘前大学 等

ふくい若狭エリア

原子力・エネルギー関連技術を活用した新産業の創出
※(財)若狭湾エネルギー研究センター、福井大学 等

石川県央・北部エリア

地域伝統発酵食品に学ぶ先進的発酵システム構築と新規高機能食品開発
※石川県立大学、金沢大学、石川県工業試験場 等

十勝エリア

食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化によるアグリ・バイオクラスターの形成
※帯広畜産大学 等

むつ小川原・八戸エリア

次世代フラットパネルディスプレイ関連技術を応用了した高機能・高効率光学素子の開発
※(財)21あおもり産業総合支援センター、液晶先端技術研究センター 等

鶴岡庄内エリア

機能評価システムの構築と地域農産物を活用した高機能食産業クラスターの形成
※慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学、山形県農業総合研究センター、山形県工業技術センター 等

埼玉・圏央エリア*

高速分子進化技術を核とするバイオ・ものづくりクラスターの形成
※埼玉大学、東京大学、理化学研究所、埼玉県立がんセンター、九州大学、新潟大学、豊橋技術科学大学、埼玉県産業技術総合センター、お茶の水女子大学、埼玉医科大学 等

千葉・東葛エリア

先進的地域基盤技術を活用した次世代型抗体創薬システム及び診断用デバイスの開発事業化
※東京大学、千葉大学、(独)放射線医学総合研究所、千葉県がんセンター 等

かずさ・千葉エリア

先端ゲノム解析技術を基礎とした免疫・アレルギー疾患克服のための産学官連携クラスター形成
※(財)かずさディー・エヌ・エー研究所、千葉大学、(独)理化学研究所 等

● 一般:10地域

▲ 発展:13地域

☆重点支援枠により採択

※ 核となる研究機関

研究分野 第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)における重点推進4分野とその他分野を表します。



ライフサイエンス分野



情報通信分野



環境分野



ナノテク・材料分野



その他